

議 事 録	
会 議 名	令和7年第1回豊田警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和7年2月28日（金）午後1時30分から午後4時まで 豊田警察署 講堂
出席者	<p>1 委員 15名（定数15名）</p> <p>杉浦 直人 会長 鈴木 重隆 副会長 西田 保 委員 藤井 福男 委員 福島 茂 委員 田中 マリア 委員 神尾 貴美 委員 山本 有佐 委員 中根 利幸 委員 大村 彰彦 委員 富岡 かおり 委員 城 千穂子 委員 藤谷 優子 委員 石崎 正樹 委員 佐藤 泰地 委員</p>
	<p>2 警察署員 9名</p> <p>木村 署長 中野 副署長 浅沼 警務課長 志水 会計課長 石川 生活安全課長 尾畠 地域課長 長坂 刑事課長 岡本 交通課長 板津 警備課長</p>
	<p>3 有識者等 なし</p>
<p>1 委嘱状の交付 署長から再任委員と新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。</p> <p>2 委員挨拶</p> <p>3 会長及び副会長の選出 委員の互選により、杉浦委員を会長に選出し、会長は鈴木委員を副会長に指名した。</p> <p>4 署長挨拶</p> <p>5 署幹部紹介</p> <p>6 報告内容</p> <p>(1) 管内の治安情勢</p> <p>(2) 前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況</p> <p>ア 前回の協議事項 警察における震災対策</p> <p>イ 前回の意見・要望</p> <p>(ア) 災害警備訓練及び署員教養の実施</p> <p>(イ) 自助及び共助を高められるような広報啓発の実施</p> <p>(ウ) 防災関係機関等と継続的に連携した体制構築</p> <p>ウ 施策推進状況</p>	

(ア) 阪神淡路大震災発生当日に合わせて災害警備訓練を実施し、代替指揮所設置訓練を実施した。また、朝礼や招集行事で署員に対する教養を実施した。

(イ) 小学校、高等学校、大学における防災講話の実施、防災広報チラシを活用して、避難時の留意事項を呼び掛ける活動を実施した。

(ウ) 管内の大学生と協力して、災害発生時の警察活動や自助及び共助を呼び掛ける動画を作成した。

(エ) 署員が、防災を呼び掛けるビブスを着用して豊田市マラソン大会に出場し広く防災を呼び掛けた。

(オ) 関係機関との合同訓練、意見交換会を実施するとともに消防署、管内の鉄道会社との防災訓練を実施し関係強化を図った。

7 協議事項

総合的な自転車安全対策

8 発言の要旨

(1) 中学校、高等学校入学前の交通安全教養が効率的である。

(2) 物を大切にすることを醸成していくことで、自転車駐輪中の無施錠自転車が減り、盗難被害の減少につながると思う。

(3) 盗難防止の観点から、従来の施錠設備よりも頑丈な施錠設備を取り付けることが大切で、盗まれそうなときに警報音が吹鳴するようなシステムが効果的である。

(4) 通勤に自転車を利用しているが、主要駅周辺における自動車の停車に対する注意喚起が必要である。夜間だと止まらない自動車もあるが、点滅式のライトに変えたら随分遠いところからでも存在が分かるように止まってもらえるようになった。自転車利用者自らの工夫も大事である。

(5) 自転車利用者に対して、駐輪時の施錠を習慣づけさせるための活動をしていかなければならない。

(6) 各駐輪場における防犯カメラの設置台数を増やすことで警戒心を高めていかなければならない。

(7) 自転車利用者のヘルメット着用を呼び掛けていかなければならない。

9 意見・要望

(1) インセンティブな啓発活動の実施

(2) 各タイミングを意識した働きかけ

10 その他

(1) 速度取締指針の説明

交通課長から、速度取締指針の説明があった。

(2) 次回開催予定

令和7年5月下旬ころ